

物集高世著、松本義一校訂・解説

葎屋集 上巻

物集高世は杵築の生んだ優れた国学者・歌

人であるが、この葎屋集は明治十年、彼の六

十一才の時に上梓された家集である。本書は

二豊文学叢書の才一号として発刊されたもの

で、大分大学教授松本義一氏が正確詳細な校

訂・解説を加えている。(B6判一二四頁騰

写、大分市千代町二豊文学学会発行、非売)

兼子俊一 編著

大分県の風土と沿革 (風土篇)

半田康夫・富来隆 共著

大分県の風土と沿革 (沿革篇)

本書は、先に発刊された「大分県政史」才

二巻の中から、風土・沿革の部を特に県当局

の諒解を得て各二〇〇部を限つて増刷したも

のである。風土篇には位置・面積・地勢・地

質・気候・生物・災害・資源・人口等を収め

沿革篇は原始時代より近世に至る郷土の歴史

を概説している。(A5判、風土篇二六四頁

実費二四〇円、沿革篇三二二頁、二七〇円、

大分大学学芸学部社会科学研究会刊)

大会開催のおしらせ

本会の才三回大会を左の通り開催いたします。同好の士をおさそいの上、多数御出席下さいますようお願いいたします。

一、日時 六月十七日(日曜)
十時半—四時

一、場所 大分市金池町
大分市中央公民館

一、会次才

(1) 研究発表 十時半—十二時半

(2) 総会 一時—二時

(3) 特別講演 二時—四時(質疑
懇談を含む)

宗麟没後の義統行状の一斑

別府大学教授 岡本良知氏

編集後記

★編集子のふてぎわの為に発刊がおくれたこととおわびします。本会発足以来才三年目を迎えますので、おくれをとり返えすべく七・八号を合輯、これを以つて才二年度を終ることにしました。あしからずご了承下さい。

★投稿の方が固定したような感じがします。

皆さま奮つて御投稿下さい。論文(四〇〇字十五枚程度)はもちろんですが、資料紹介、歴史教育、新刊紹介、それに肩のこらぬ郷土史話、ハガキニュース等も是非お願

いします。なお御投稿中には句読点のないものがあり、編集子や印刷者を悩ませます御同情下さつて句読点をお忘れなく。

★費用の都合で、図版・写真版掲載御希望の方は実費を御負担願います。抜刷も実費御負担にて御希望に応じます。

★次号から三十一年度に入りますので、会費(三〇〇円)を至急御納入下さい。前年度分未納の方もどうぞお願い致します。

★本誌について忌憚なき御意見をお聞かせ下さい。できるだけ皆様の御期待にそうよう努力いたします。

★会員諸氏の一段の御活躍を祈ります。(半田)

昭和三十一年六月十五日 印刷
昭和三十一年六月十五日 発行

年 会 費 三〇〇円
分売は本号に限り 頒価 一〇〇円

編輯兼 大分県地方史研究会

発行人 代表者 渡 辺 澄 夫

印刷人 高 井 久 男

大分市上野 電話一七七五

印刷所 三恵印刷株式会社

大分市駄原 大分大学

学芸学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替口座下関五二四九番)